

つるおか

# 市議会

令和元年

12月定例会号

●R2.2.1発行

だより



Vol.61

【写真】

ひろっぴあ

こども寒鰯まつり

新議会体制	.....	P 2
12月定例会の概要	.....	P 4
総括質問	.....	P 8
一般質問	.....	P 10
市議会モニターを募集します	.....	P 15

# 11月臨時会の概要

11月11日に臨時会を開催し、当局から提出された条例議案1件（鶴岡市保育所設置及び管理条例の一部改正について）を審議し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、正副議長選挙をはじめ、常任委員会委員等の選任を行い、それぞれの委員会において正副委員長を互選しました。最後に、庄内広域行政組合議会議員の補欠選挙を行い、新議会体制を決定しました。

※委員会等の構成は3頁をご覧ください。

正副議長は、議員全員の投票によって決定します。

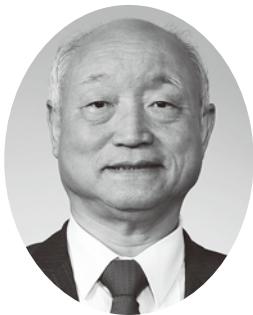
## 【議長選挙結果】

本間 新兵衛	議員	29票
本間 信一	議員	1票

## 【副議長選挙結果】

佐藤 博幸	議員	18票
小野 由夫	議員	12票

# 11月臨時会 新議会体制が決まりました



副議長

佐藤 博幸

本市の人口は、2035年には10万人を下回ると予測されています。市議会では、人口減少・地域活性化対策特別委員会を設置し、昨年9月に市長へ提出した報告書においては、生産年齢人口の流出に歯止めを掛けるため、子育て支援の強化と若者の働く場を増やすことなどを提言しました。

高齢化率は、2045年には45.1%と予測されており、これからの安心できる生活のためには、医療と介護、市民が一体となって地域包括ケアを推進する必要に迫られています。

人口減少と高齢化、財政難などの厳しい現実を直視し、鶴岡市がどのような方向へ進んでいこうとしているのか、議会の責務を自覚し、チェック機能をしっかりと果たし、市民の負託に応えるために微力ながら議長を精一杯支えてまいります。



議長

本間 新兵衛

11月臨時会において、議長に就任しました。責任の重さを痛感しており、その任務を果たす努力をまいります。

厳しさを増す財政状況をはじめ、人口減少や高齢化、地域の活性化等の諸課題に対し、市民の負託に応えていかなければなりません。儒学者である細井平洲は「土地に徳あり」と説いています。地方創生の原点と肝に銘じたいと思います。

歴代の議長を中心に合併後の新たな議会が進化を遂げてきました。今後より一層、議会の権能を十分発揮する環境づくりに努めていくとともに、市民が議会に関心を持ってもらえるように努力を重ねてまいります。皆様からは今後とも議会活動に対し一層のご指導とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



# 委員会等の構成

◎委員長 ○副委員長



## 総務常任委員会

中沢 洋 齋藤 久 山田 守 菅原一浩  
加賀山茂 ◎富樫正毅 ○佐藤昌哉 本間新兵衛



## 市民文教常任委員会

野村廣登 菅井 巖 草島進一 尾形昌彦  
佐藤博幸 ◎石井清則 ○阿部 寛



## 厚生常任委員会

田中 宏 佐藤文一 秋葉 雄 小野寺佳克  
坂本昌栄 ◎加藤鑛一 ○本間正芳



## 産業建設常任委員会

本間信一 石塚 慶 長谷川剛 渋谷耕一  
小野由夫 ◎五十嵐一彦 ○黒井浩之

議会運営委員会	◎尾形 昌彦 ○小野 由夫	菅井 巖 五十嵐一彦	加藤 鑛一 菅原 一浩	石井 清則 野村 廣登	富樫 正毅 渋谷 耕一
特別 委員 会	高速交通等 対 策	◎五十嵐一彦 ○長谷川 剛	菅井 巖 本間 正芳	加賀山 茂 阿部 寛	秋葉 雄 尾形 昌彦 齋藤 久
	議会改革	◎菅井 巖 ○尾形 昌彦	加藤 鑛一 本間 正芳	石井 清則 阿部 寛	加賀山 茂 本間 信一 黒井 浩之 渋谷 耕一
	人口減少・ 地域活性化 対 策	◎富樫 正毅 ○菅原 一浩	長谷川 剛 五十嵐一彦	坂本 昌栄 佐藤 昌哉	田中 宏 石塚 慶 小野 由夫 小野寺佳克
	議員定数等 検 討	◎渋谷 耕一 ○富樫 正毅	山田 守 秋葉 雄 小野寺佳克	加藤 鑛一 五十嵐一彦 本間 信一	田中 宏 菅原 一浩 石井 清則 佐藤 昌哉
	予 算	◎菅原 一浩 ○田中 宏	議員全員で構成		
広報広聴委員会	◎石井 清則 ○石塚 慶	長谷川 剛 本間 正芳	山田 守 佐藤 博幸	黒井 浩之	佐藤 昌哉
庄内広域行政 組合議会議員	加藤 鑛一 本間 信一	加賀山 茂	黒井 浩之	菅原 一浩	佐藤 昌哉 石塚 慶

# 議会の概要

14施設の指定管理者を可決  
補正予算、条例議案など  
30件を審議

12月定例会は、12月3日に開会し、市当局が23件の議案を提出しました。請願1件については、所管の常任委員会に付託しました。  
上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書5件を含め審議し、18日間の会期を経て12月20日に閉会しました。  
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は下段及び5頁)



総務常任委員長が請願審査の報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択となりました。  
(討論の内容は6頁)  
本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決しました。

## 市当局が議案を提出 4人が総括質問

開会初日は、市当局が予算議案4件、条例議案5件、事件議案14件の計23件の議案を提出し、各会派を代表して4人の議員が総括質問を行いました。  
(総括質問の内容は8～9頁)  
上程された議案は、予算議案

は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

## 予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案4件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

## 24人が一般質問

5日、6日、9日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、24人の議員が市政全般について質問を行いました。  
(一般質問の内容は10～15頁)

## 各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

10日に総務、11日に市民文教、12日に厚生、13日に産業建設の各常任委員会を開催しました。  
常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。  
(委員会審査の内容は7頁)

また、総務常任委員会では、付託されていた請願の審査を行いました。

## 請願1件を不採択 補正予算は全員賛成で可決

19日の本会議では、意見書提出を求める請願第3号について、

## 意見書5件を可決

## 条例議案等を原案のとおり可決

議会最終日の20日、議員提出の議会第20号から議会第24号までの意見書5件を審議し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、議第138号から議第160号までのうち21件は、表決の結果、全員賛成で可決、議第154号及び議第155号は、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

最後に、追加議案として、市当局が議第161号を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

## 12月 定例会日程

3日	本会議(総括質問) 予算特別委員会
5・6・9日	本会議(一般質問)
10～13日	常任委員会
19日	本会議 予算特別委員会
20日	本会議

### ▼市当局から提案された議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第138号	令和元年度鶴岡市一般会計補正予算(第5号)	予算特別	可決 (全員賛成)
議第139号	令和元年度鶴岡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第140号	令和元年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算(第2号)	予算特別	
議第141号	令和元年度鶴岡市下水道事業会計補正予算(第2号)	予算特別	

▼市当局から提案された議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第142号	鶴岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について 会計年度任用職員制度の導入に伴い、市で任用する会計年度職員の給与等を定めるもの	総務	
議第143号	鶴岡市職員定数条例等の一部改正について	総務	
議第144号～議第145号	指定管理者の指定について（出羽庄内国際村ほか1件）	総務	可決 (全員賛成)
議第146号～議第147号	指定管理者の指定について（鶴岡アートフォーラムほか1件）	市民文教	
議第148号～議第152号	指定管理者の指定について（鶴岡市休日夜間診療所ほか4件）	厚生	
議第153号	鶴岡市公共下水道条例の一部改正について 指定下水道工事店の指定基準のうち、成年被後見人又は被保佐人に該当する者を一律に指定しないこととしている条項を改正するもの	産業建設	
議第154号	鶴岡市農業体験農園施設設置及び管理条例の一部改正について（6頁解説）	産業建設	可決 (賛成多数)
議第155号	鶴岡市農作業準備休憩施設設置及び管理条例の一部改正について（6頁解説）	産業建設	
議第156号～議第160号	指定管理者の指定について（勝福寺交流センターほか4件）	産業建設	可決 (全員賛成)
議第161号	鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	省略	

▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第20号	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書の提出について	省略	
議会第21号	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書の提出について	省略	
議会第22号	豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第23号	気候危機に対する災害対策の強化に関する意見書の提出について	省略	
議会第24号	次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書の提出について	省略	

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第3号	沖縄県民投票の結果を尊重して辺野古新基地建設を見直し、普天間基地の代替施設が必要であるならば、国民的議論と民主主義及び憲法に基づく国会議論により公正に解決すべきと国に求める意見書の提出に関する請願	総務	不採択 (賛成少数)

◎議会の開催状況（単位：回・日）

招集回数		会期日数		本会議日数	
定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会
4	4	84	4	25	4

- ◎各常任委員会 5回
- ◎議会運営委員会 20回
- ◎議員全員協議会 4回

◎提出議案の状況（単位：件）

市長提出						議員提出					請願		
予算	決算	条例等	事件	人事	計	条例	決議	意見書	その他	計	受理	継続	計
26	4	87	36	8	161	0	2	21	1	24	3	1	4

◎審査の状況（単位：件）

市長提出						議員提出			請願					
可決	同意	承認	認定	可決及び認定	修正可決	可決	否決	推薦	採択	不採択	みなし不採択	継続審査	審議未了	取下げ
146	8	2	2	2	1	23	1	0	2	2	0	0	0	0

議会の開催状況（平成31年・令和元年）  
 昨年は4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と4回の臨時会（4月、6月、7月、11月）が開催されました。



## 大平農業体験農園 大平農作業準備休憩施設

### 地元運営組合へ貸付け

朝日地域にある大平農業体験農園と大平農作業準備休憩施設は、現在は行政財産であり、地元住民組織の大平高原わらび園組合が指定管理者として運営を行っています。令和2年度から普通財産とし同組合へ無償貸付をすることから、条例の改正案が提出されました。

今後、わらび園の売上げだけで施設の維持管理コストを賄うのは困難であるとして、反対の討論がありました。賛成多数で可決しました。

### 一般質問

- キッズドームソライ
- 朝陽五小の校舎改築

ヤマガタデザイン社から運営面の協力・支援が求められている「キッズドームソライ」と、校舎の改築が検討されている「朝陽五小」について多くの質問がありました。

(一般質問の内容は、ソライが10頁、五小が11頁。)

# 12月定例会の ポイント

### 補正予算

## 山形県沖地震被害への対応

令和元年6月に発生した山形県沖地震による被害への対応としては、これまでも6月・7月臨時会及び9月定例会において、被災者支援及び公共施設等の復旧経費が補正予算に計上され、審議を行ってきました。

今定例会では、対応方法に検討を要していた温海ふれあいセンター多目的ホールの天井改修工事費396万円、あつみ温泉ばら園の復旧経費364万円のほか、災害廃棄物運搬処理業務委託料の増額として1,30万円が補正予算に計上され、審議の上、全員賛成で可決しました。

(災害廃棄物運搬処理業務に関しては、委員会審査の内容を7頁に掲載しています。)

# 討論

沖縄県民投票の結果を尊重して辺野古新基地建設を見直し、普天間基地の代替施設が必要であるならば、国民的議論と民主主義及び憲法に基づく国会議論により公正に解決すべきと国に求める意見書の提出に関する請願

### 賛成

**日本共産党鶴岡市議団**  
民意の踏み付けは許さない  
基地のない平和な国を

辺野古移設により、沖縄の基地負担軽減とは正反対に基地機能は飛躍的に強化されてしまう。選挙では、繰り返し建設反対の圧倒的審判が下されており、この民意を踏み付けることは絶対に許されない。戦後の占領下で民有地を接収してできた基地は無条件に返還し、基地のない平和な国を目指すべきである。

### 反対

**新政クラブ**  
辺野古移設が唯一の解決策  
負担軽減は進んでいる

普天間飛行場の危険性除去のため、移設先は様々な代替案が提示されたが、県外移設は不可能との結論に達し辺野古移設が決定している。また、基地の負担軽減として、11件の土地返還に合意しており、今後も返還が予定されている。合意に基づき沖縄基地の負担軽減は進んでいることから、本請願に反対する。

### 賛成

**市民クラブ**  
辺野古基地建設は非現実的  
基地に関する国民的議論を

沖縄に70%以上の米軍基地があり、沖縄と本土の関係が根本的に問われている。絶滅危惧種ジュゴンの生態系など環境への影響も大きく、また、軟弱地盤の改良が不可欠のため、そもそも基地建設は現実的でない。辺野古移設が唯一の解決策という思考に陥ることなく、国民的議論を深めることが急務である。

### 賛成

**無所属**  
国民全体が自分ごととして  
受け止め、安全保障の議論を

県民投票や知事選で反対の民意が示されているにもかかわらず、新基地建設が強行されていることは、民主主義や地方自治等の理念に反し、また、大規模な環境破壊という観点からも重大な問題である。沖縄に基地を偏在させる差別を超えた新たな安全保障の議論を国に求めるもので、願意妥当と考える。

# 委員会審査

提案された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。

(審査の主なものを掲載します。)

## 総務常任委員会

**会計年度任用職員制度に係る国からの財源措置は**

**委員** 会計年度任用職員へ期末手当を支給することにより人件費が増額となるが、国からの財源措置の見込みは。

**職員課長** 総務省からは「会計年度任用職員制度に係る必要な措置は、法改正の趣旨が実現できるような適正に検討する」旨の説明があったが、現段階で詳細の提示はされていない。なお、期末手当支給による人件費の増加額は、約2億2,000万円を見込んでいる。

## 予算特別委員会 市民文教分科会

**山形県沖地震による災害廃棄物運搬処分費は**

**委員** 災害廃棄物運搬処分費の国からの支援は。

**廃棄物対策課主幹** 国の災害廃棄物処理事業の対象は、生活環境の保全上支障があるもの、緊急に処理しなければ著しく支障があるものと規定されており、令和元年7月末までに集積された災害ごみが補助対象とされた。しかし、屋根瓦の復旧状況から8月以降も仮置き場の延長が必要と判断し、市単独財源による被災者支援を行っている。

**委員** 処分費用の総額は。

**廃棄物対策課主幹** 国の補助対象となる7月末までに搬入された分は3,108万円であり、8月以降に搬入される分は2,182万円を見込んでいる。

**屋内多目的運動施設の総事業費は**

**委員** 大山工業団地内に建設予定の屋内多目的運動施設について、総事業費、財源内訳、市の負担は。

**スポーツ課長** 総事業費は21億5,000万円を見込んでおり、合併特例債、過疎対策事業債を充

当し、できるだけ有利な財源を活用することで、市の負担が少なくなるよう努めていく。

## 予算特別委員会 厚生分科会

**本市の生活保護世帯の特徴は**

**委員** 生活保護者の世帯数と全体の傾向や特徴は。

**福祉課長** 生活保護世帯は11月末現在1,130世帯であり、昨年度比で49世帯、69人増加している。また、医療扶助費が全体の5割以上を占めており、医療費の増減が生活保護費全体に大きく影響を及ぼしている。本市は、県内13市の中で人口に占める生活保護者の割合が最も高く、単身世帯の高齢者、障害者が非常に多いことが特徴である。

## 産業建設常任委員会

**加茂水族館の民間譲渡は**

**委員** 来館者も多く利益も出ているため、民間へ譲渡し、官民連携による運営も検討すべきでないか。

**観光物産課長** 今後も引き続き、現在の安定的な運営体制の下、事業の推進を図っていきたい。なお、民間の経営視点で様々なソフト事

業に取り組んでいくことは大変重要と認識しており、観光関係者等から意見を聴きながら着実に推進していきたい。

## 予算特別委員会 産業建設分科会

**藤島歴史公園の藤の枯損被害への対応は**

**委員** 枯損藤植替え作業の概要は。  
**藤島庁舎産業建設課長** 大藤棚の枯損した藤4本を植え替えるが、地域の要望を受け、公園のシンボルである房の長い野田長藤を1本から2本に増やす一方、房の長さが通常の藤を3本から1本に減らし、計3本を植栽する。専門家の指導による土壌改良を施して復旧していく。



枯損被害に遭った  
藤島歴史公園 (Hisu花) の大藤棚

# 総括質問

市長提出議案に対して、  
会派を代表して質問します。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube

## 「鶴岡市議会チャンネル」

本会議のライブ・録画配信を  
行っています。

YouTube 鶴岡市議会

検索



質問の全部は、議会ホームページ等で  
公開している録画中継や会議録をご覧  
ください。

原稿は質問した議員本人の責任におい  
て執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

## 観光客数の動向と今後の見通しは

新政クラブ 菅原 一浩 議員



議員 新潟県・庄内エリ  
アDC（※）期間中の観  
光客数の動向と今後の見  
通しは。

市長 各観光協会や交通機関等  
からの聞き取りによると、10月  
は台風の影響で3連休の宿泊予  
約が半減した施設もあるなど、  
市内の主な観光地で前年度に比  
べ減少している施設が多かった  
が、11月以降はDCでの情報発  
信の取組もあり回復傾向と聞い  
ている。観光案内所の来所者数  
は、前年に比べ10月は30%増、  
11月は53%増である。

また、「詣でる、つかる、いた  
だきます」をテーマにインター  
ネット旅行会社を活用したPR  
を行っており、特に複数の女性  
での利用が増加している。今後  
もDEGAMや観光協会等と連  
携し入込客数の回復、拡大に努  
めるとともに、DC終了後も見  
据えた首都圏からのバスツアー  
の誘致など、更なる誘客拡大に  
取り組む。

ほかの質問

オリ・パラ、消費税、  
介護保険、会計年度任  
用職員

## 屋根瓦工事 復旧支援を最後まで

日本共産党鶴岡市議団 菅井 巖 議員



議員 山形県沖地震によ  
る屋根瓦被害は11月15日  
現在、613棟中約25%  
の152棟で復旧の見通

しが明確になっていない。市の  
修理費補助は2月末までの工事  
完了が条件だが、最後まで住民  
に寄り添った支援が求められる。  
工事業者の手配や資金繰りが厳  
しい方への追加支援の検討も含  
め、見解は。

市長 2月末までの工事完了が  
条件となっている瓦屋根修繕緊  
急支援事業、被災住宅耐震性向  
上改修支援事業は、現在、延長  
の調整を図っている国と県の承  
認が得られ次第、支援延長をお  
知らせする予定である。

工事業者の手配がつかない方  
には、引き続き県瓦工事組合と  
の連携を図り支援したい。収入  
が少ないなどの理由で融資が受  
けられない方には社会福祉協議  
会が行う住宅改修費福祉貸付制  
度を案内している。今後関係  
機関等と連携しながら対応する。

ほかの質問

消費税増税、会計年度  
任用職員、大平高原わ  
らび園 など

※DC…デスティネーションキャンペーンの略。自治体と地域の観光事業者が  
JRグループと連携して実施する大型観光キャンペーン。



## 大型事業実施による既存施設への影響は

市民クラブ 小野 由夫 議員



**議員** 新規事業の屋内多目的運動施設整備事業6億2,940万円が補正予算に計上されている。

この事業を推し進めることで、地域の必要不可欠な教育施設管理事業に悪影響は生じないのか。

**市長** 競技団体からなる整備検討委員会や地域の要望、意見を聴きながら、設計を進めている。総事業費は21億5,000万円を見込んでおり、前払金として建設工事費の4割相当を補正予算に計上している。財源は、合併特例債10億2,000万円、過疎対策事業債10億6,000万円のほか一般財源7,000万円と有利な起債の活用にも努め、支出を5年間にわたり平準化することで他の施設修繕に要する財源へ影響しないよう対応を図っている。各地域の教育施設は、長寿命化対策も講じながら、適切な維持管理、予算執行に努めていく。

### ほかの質問

山形県沖地震の被災者対応、指定管理者の現状

## 都市交流と加茂水族館の増改築で観光振興を

鶴岡市議会公明党 秋葉 雄 議員



**議員** 多くの都市との盟約を望む声寄せられるようになった。観光、交流人口の拡大に直接結び付く可能性もあり、検討は大変有効なのではないか。今後の都市盟約に対する考え方は。

**市長** これまでの都市盟約の考え方と同様に、市民・民間レベルでの交流活動の積み重ねによる関心の高まりや気運の醸成、先方の意向なども踏まえながら個別具体的に検討していく。

**議員** 現在の本市観光振興の目玉とも言える加茂水族館のリニューアル計画について原案のみ示されているが、具体策は。

**市長** クラゲ展示に力を入れる水族館が増えている中で、更に多くの種類の展示を行い他施設との差別化を図り、体験学習機能の強化、混雑緩和での満足度向上などを柱に取り組み、入館者数の一層の拡大を目指したい。令和2年度に設計に着手し、6年度の完成を目標にしたい。

### ほかの質問

経済情勢（実態把握）、商工課長の不在

## 全国から来鶴

平成31年・令和元年 行政視察受入状況



鶴岡市議会では、議員行政視察の受入れを行っています。昨年の1年間で24件188人が来鶴しました。本市の施策が注目されることで、交流人口の増加につながっています。

### ★主な視察項目

- ・空き家対策、ランドバンク事業…6件
- ・食文化創造都市推進事業…3件
- ・鶴岡市先端研究産業支援センター関連…2件
- ・市民まちづくり活動促進事業…2件

### ★来鶴議会一覧

袋井市（静岡県）	新発田市（新潟県）	山口市
岡崎市（愛知県）	本庄市（埼玉県）	下関市（山口県）
洲本市（兵庫県）	廿日市市（広島県）	周南市（山口県）
鶴ヶ島市（埼玉県）	魚沼市（新潟県）	米沢市（山形県）
江戸川区（東京都）	牧之原市（静岡県）	大分市
宇治市（京都府）	入間市（埼玉県）	香川県
千曲市（長野県）	三次市（広島県）	久留米市（福岡県）
石垣市（沖縄県）	延岡市（宮崎県）	岐阜県

～来鶴いただきありがとうございました～

## キッズドームソライへの 支援の考えは



坂本 昌 栄 議員

**議員** キッズドームソライが児童センター(※)として認可を受けた場合、市はどの程度関与できるのか。また、認可を受けることが市の支援の最低条件と捉えていいのか。

**健康福祉部長** 県の指導監査に立ち会い必要な助言を行っていく。また、児童福祉関係行政機関や児童委員等からなる運営委員会が設置されることから、適正な運営が図られるよう市もその一員となることを求めたい。公費を投入する以上、行政が関与できるよう児童福祉施設として法的に位置づけ、児童の健全育成に寄与していく役割を果たしていただきたいと考えている。

### ほかの質問

学校図書館司書、自衛隊への情報提供

# 一般質問

市政全般について考え方や方針などを  
市当局に質問します。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

質問の全部は議会ホームページ等で公開している議会中継や会議録をご覧ください。  
原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。  
※総括質問を行った議員を除く21人の質問を掲載します。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議のライブ・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会

検索



## キッズドームソライ 3,500万円補助の妥当性



渋谷 耕 一 議員

**議員** 民活による設備投資で持続可能な運営を行うとしてオープンしたが、1年目にして経営悪化に陥っている。市が3,500万円を補助することに妥当性はあるのか。また、コンセプトについてヤマガタデザイン社と協議しているのか。

**健康福祉部長** ヤマガタデザイン社は経営見通しの甘さを認めており、市としても官民連携の在り方について意思疎通が不十分であったことは否定できず、意思決定過程に問題があったと考えている。ソライは子供の天性を重視し個性を伸ばす施設として好評であることも踏まえ、市のコンセプトは満たしており、必要な施設と考えている。

### ほかの質問

皆川市政の評価と効果

## 曖昧な事業計画 不完全・不適切な官民連携



石井 清 則 議員

**議員** 運営支援の口約束や認識の違いなど、曖昧な計画で進められたキッズドームソライとFOODEVERは、短期で経営難になっている。市は追加支援を検討しているが、他の市民サービス削減につながり、経営失敗の責任を市民が負うことになる。曖昧な計画で事業を進めた責任は、**総務部長** 官民連携では、双方の役割分担や費用負担など共通認識が必要だが、その調整や進め方に不完全・不適切な部分があった。両施設の設置計画を進めた当時の判断については、できる限り経緯を明らかにしつつ、その責任についてしかるべき対応を検討していく。

### ほかの質問

キッズドームソライ・FOODEVERの経営、官民連携事業への予算増額

※児童センター…児童館の機能に加え、体力増進を図ることを目的とした指導機能を有する施設。







## 加茂水族館の増改築と今後の展開は

尾形 昌彦 議員



**議員** 加茂水族館リニューアル10周年に向けたスケジュールと整備事業の概算金額、増改築費用の財源捻出についての考えは。

**商工観光部長** 令和11年までの10か年を計画期間とする振興基本計画の策定を進めている。ハード面については2年度から3年度にかけて基本設計及び実施設計の着手、3年度以降に建設工事の着工、6年度の完成を目標にしている。事業費は今後の設計で積算を行うが、大枠で15億円程度を見込んでおり、財源は加茂水族館整備振興基金のほか、全国から協力を得て取り組むために様々な資金調達方法を検討していく。

ほかの質問

児童・生徒のネット・ゲーム依存防止

## 「ひきこもり」の実態把握と支援強化を

富樫 正毅 議員



**議員** 本市でひきこもり状態にある人は推計で1,000人以上いる。社会的に孤立した親子をいかに救うかは大きな課題である。長期的視野に立ったプログラムやメニューが必要ではないか。

**健康福祉部長** 現在、ひきこもりに特化したプログラムはないが、今後、個別の事情に合わせて家族が安心できるシステム構築を進めていく必要があり、有効なプログラムやメニューの作成を検討していきたい。また、家庭内で抱え込み、相談機関につながってない場合も多い。民生委員児童委員や自治組織など地域との連携も含め、更に強化を進める必要がある。

ほかの質問

学校と地域社会の協働

## 森林環境譲与税の 使途方針と林業振興対策は

五十嵐 一彦 議員



**議員** 森林環境譲与税を活用した路網整備の可能性は。また、各事業体管理の林業専用道を市管理の林道へ格上げできないか。

**農林水産部長** 既存の補助金交付による整備とは手法を変えて、路網整備に必要な機械を市が取得し事業体にレンタルする形での活用は可能性があるので、今後、活用方法を研究していく。市管理の林道への格上げは、個別路線の利用実態や使用目的、公共性、費用対効果等を踏まえて検討する必要がある。あわせて、各事業体の林業専用道の管理経費への譲与税活用についても研究していきたい。

ほかの質問

地震で被害に遭った空き家への支援

## 森林資源のエネルギー利用 による経済循環を

石塚 慶 議員



**議員** 公共施設における導入状況と課題は。

**農林水産部長** 住民の要望やコスト、構造上の観点から総合的に判断し、羽黒庁舎など4施設で木質ペレットボイラーを導入している。薪やチップは扱いにくさが課題だが、地域内での材確保などメリットもある。利用者の要望や防火等も考慮しながら導入を進めたい。

**議員** 森林資源活用を目指す様々な団体を結び付け事業化を検討する環境省「地域循環共生圏プラットフォーム事業」に取り組んではどうか。

**市民部長** 活用を検討しながら官民協働による地域循環共生圏の創造を目指していきたい。

ほかの質問

地域おこし協力隊

## 市長等の政治的行為を制限する条例制定は

佐藤 昌哉 議員



**議員** 地方公務員法第36条の政治的行為の制限に基づき、大阪市、新居浜市などでは、職員の政治的中立性を確保するため、条例やガイドラインを制定し、市長等の行う政策的な広報活動や市長等の評価となる可能性のある一面的に偏った内容は、十分な配慮が必要であるとしている。本市も条例を制定する考えはあるか。

**総務部長** 地方公務員法第36条に基づき、ごく限られた自治体においては職員の政治的行為の制限に関する条例を定めているところもあるが、国の通知においても否定的な解釈、見解であり、現段階で市独自の条例制定は考えていない。

ほかの質問

第2次総合計画、朝陽五小校舎の改築

## 車の安全装置装着への支援は

本間 信一 議員



**議員** 東京都池袋でブレーキとアクセルの踏み間違いにより高齢者の運転する車が母子2人をはね死亡させる事故が発生した。このほかにも、コンビニやスーパーの店舗に突っ込むなど、踏み間違いによる事故が後を絶たない。全国では、後付けの踏み間違い防止装置装着への補助を行う自治体もあるが、市の見解は。

**市民部長** 現在、後付けの踏み間違い防止装置への補助は検討していないが、今後の安全装置搭載車の普及状況や後付け装置の開発・普及状況、国や県、他自治体の動向を注視し、財政状況も踏まえ検討すべきと考えている。

ほかの質問

高齢者世帯等の雪下ろし

## 地球温暖化問題の対策は

草島 進一 議員



**議員** 来年から動き出すパリ協定に向け国連気候行動サミットが開催された。本市の現状認識と関係する計画等の見直しは。

**市民部長** 温室効果ガス排出抑制だけでなく、自然災害への備えや熱中症等の防止に関する注意喚起にも取り組んでおり、今後も着実に推進していく必要があると認識している。環境基本計画は、令和3年度の期間終了に向け進捗調査等を踏まえ内容を見直し、第2次計画を策定していく。そのほか、5年度からの第2次地域エネルギービジョンの策定、第3次地球温暖化対策実行計画の中間見直しなどを行っていく。

ほかの質問

有機農業政策

## 5mの浸水が想定される赤川の水害対策は

小野寺 佳克 議員



**議員** 赤川が氾濫した場合、迅速な避難ができるか不安を禁じ得ない。堤防決壊の想定箇所、浸水被害想定、氾濫流の到達時間と避難対策は。

**市民部長** 堤防越水の危険性が高い所が8か所、過去に決壊した所が3か所ある。上流部で決壊すると本市の赤川流域のほとんどが浸水すると想定される。氾濫流は最短で約10分で到達する。各町内会の自主防災訓練や研修会、見直し中の洪水ハザードマップの説明会等において、浸水深や避難所の位置、経路の安全性の確認をお願いしたほか、住民自らの避難行動や家族全員の安全な避難方法等を確認するよう周知している。

ほかの質問

荘内病院の水害対策



## バイオ研究に 安全管理は必要不可欠

渡辺 洋井 議員



**議員** バイオ研究は地球上に存在しない生物をつくる可能性があるため、サイエンスパークの安全管理は必要不可欠である。先進地では条例を制定し、年次報告書の提出、市民への情報発信、記録保存を義務付けるなど、安全管理を徹底している。安全管理体制確立に対する見解は。

**企画部長** 遺伝子組換え等の環境保全に関する法律等の定めがある中、条例等で上乘せする必要性は低いとの有識者の意見もある。一方、安全管理に関して市が取組を発信することや企業が主体的に公表することも大事との助言もあり、まずはこうした機運醸成を図っていきたい。

### ほかの質問

子どもの遊び場の遊具整備

## サイエンスパークの 汚水処理は

加賀山 茂 議員



**議員** サイエンスパークではどのような研究がされているか。

**企画部長** 細胞・微生物や食品等の成分を解析し医療や食品開発等に役立てる研究や、人工合成クモ糸の開発など様々な研究が行われている。

**議員** 研究に使用される薬品は、人体や自然環境に影響がある物質は使われていないか。また、どのように処理されているか。

**企画部長** 劇物に該当する薬品もあるが、各団体において法令に基づき厳重に保管され、廃液は一部希釈放流が認められているものを除き、専門業者が回収し、適正に処理している。

### ほかの質問

なし

※渡辺洋井議員の原稿は広報広聴委員会で作成しました。

## 市議会モニターを 募集します

鶴岡市議会では、議会の運営等に関し、市民の意見を広く聴取し、今後の議会運営等に反映させるため、「市議会モニター制度」を実施しています。令和2年度のモニターを募集しますので、ぜひご応募ください。

**【募集人数】** 20人程度

**【任 期】** 1年。再任(1回)可。

**【募集期限】** 令和2年3月19日(木)

**【応募資格】**

満18歳以上の市民(市内の高等教育機関に在籍する学生は、市外在住でも応募できます。)

**【応募方法】**

応募用紙に必要事項を記入し、議会事務局へご応募ください。応募用紙は市議会ホームページ又は議会事務局でお渡しします。

※その他詳細は、議会事務局及び各地域庁舎に設置のチラシ又はホームページをご覧ください。

## 議員定数に関する 参考人意見聴取会を 開催します

議員定数等検討特別委員会では、本市にふさわしい議員定数について、市民の皆さんの意見を聴くため、議員定数に関する「参考人意見聴取会」を開催します。

**【日 時】** 令和2年2月19日(水)午後7時

**【会 場】** 市役所本所3階 委員会室

**【参考人】** 市内自治組織の代表者等20人程度

**【テーマ】**

「現在の鶴岡市議会の議員定数についてどう考えるか」

**【傍 聴】**

傍聴を希望する方は、事前に議会事務局へご連絡ください。

## 3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 本会議 (開会・総括質問)	4 予算特別委員会	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	7
8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 予算特別委員会	11 総務 常任委員会	12 市民文教 常任委員会	13 厚生 常任委員会	14
15	16 産業建設 常任委員会	17 常任委員会 予備日	18 常任委員会 予備日	19	20 (春分の日)	21
22	23 議会運営委員会	24 予算特別委員会	25 本会議 (表決・閉会)	26	27	28
29	30	31	請願・陳情 提出期限 2月25日(火)午後1時			

※各会議の開会時刻は午前10時です。  
午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。  
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

# 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴するには

- ◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。本所4階ロビーに傍聴の受付があります。傍聴の定員は64人です。
- ◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。傍聴の定員は5〜20人です。※団体で傍聴する場合は、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。
- ◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画中継も視聴できます。

## 渡辺洋井議員 逝去



市議会議員 渡辺洋井氏(74歳)が令和元年12月16日に逝去されました。

故渡辺議員は平成21年に初当選され、在任中は、厚生常任委員会副委員長、予算特別委員会副委員長等を務められ、市政の発展のためにご尽力されました。

ここに心から哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 議会傍聴アンケート

12月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介いたします。

- ・質問は、もっとはっきりとした口調で話してほしい。
- ・今回が初めての傍聴だったが、もっと来なくてはいけないと感じた。大変貴重な機会だった。

今回から新メンバーでの編集が始まりました。市民が必要としている情報が届き、手に取って読んでもらえる議会だよりになるように、できることから見直しを行っています。

今号から紙面の一部に読みやすい字体(UDフォント)を使用し、1月からは議会だよりについてアンケート調査を開始しています。

議会からのより良い情報発信を進めていくため、議会だよりや市議会ホームページについて、皆さんの声をお聞かせください。

広報広聴委員長 石井 清則



## 編集後記



### 広報広聴委員会

佐藤昌哉 本間正芳 長谷川剛 山田守 黒井浩之  
佐藤博幸 石井清則 石塚慶  
(副議長) (委員長) (副委員長)

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25  
電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123  
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

R70

VEGETABLE OIL INK

環境に配慮し再生紙と植物油インキを使用しています